昭和五十二年七月七日　発行

定価一三八〇円

■草の実■

著者　竹久夢二

発行人　山本一哉

発行所　ノーベル書房株式会社

東京都新宿区西大久保一の四三三　西北ビル

☎二〇〇—〇一六〇

〒一六〇

印刷所
製本所　凸版印刷株式会社

0093—51013—6824

雷竹

少年の春

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.c

炬　燵

春の雪

草の実

竹久夢二

ノーベル書房

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

きみはカイロの手品師か
白く華奢なる指をもて
赤い毛糸をつまぐれば
あやとりかけとり水車
さてはべん〳〵ことかいな
指にからまる赤糸の
あはれはかなきわが心

はしがき

わがこの稚き物語を、「こがね丸」の作者におくる。

氏は、わが国の少年作者として最初の人であつた。また少年の国の国王として、ながい間、小ひさな我儘な国民の敬愛おかざる人であつた。

誰でもが曾て一度少年であつたごとく、あらゆる人の記憶から国王の名は忘れられないであらう。

他日、少年の夏の公園に、日本の少年作者を紀念すべき何者かが残されるならば、それは氏の銅像であらねばならぬ。わたしは曾て少年の国の国民のひとりとして、この稚い物語を氏に贈ることをこのうへない喜びとする。

著者

草の実

目次

春の鳥

少年と春……一九
花娘……四七
盲目の少女……六一
さようなら……六九
順礼歌……八五

つぎ〳〵草

瀬戸通ひ……九九

逃れゆきし小鳥……一二〇
あざみの花……一二四
白い薬……一二七
たそがれ……一二九
つぎ〳〵草……一三三
里をゆく旅人……一三五
春の雪……一三〇
機を織る娘……一三三
指……一三六
夏祭の夜……一三九
その夜の宿……一四四
聖地……一四九
島の異人さん……一五四
妹……一五八

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com